

令和七年度 学校評価 勇志国際高等学校

勇志の心	国を愛し 郷土を愛し 人を愛する
教育方針	親孝行する青少年たれ 志ある人間たれ 誇りある日本人たれ 役に立つ国民たれ 尊敬される国際人たれ
指導方針	生徒の長所を認め長所を伸ばすことを、生徒指導に当たっての指針とする。短所を指摘し矯正する方法は採用しない。

評価基準	A・・・ほぼ達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
------	----------	----------	-----------	---------

評価項目	具体的方策	達成状況	評価	次年度への改善点
学習指導				
1 道徳教育の確立	①科目として教育課程に入れている。「高校生のための道徳」を道徳教科書として使用している。	①開校以来、道徳の授業を行っている。充実した道徳教育ができています。	A	日本人としての誇りを持つ生徒を育成するために、日本の正しい歴史・道徳教育を今後も継続する。
2 スクーリングの充実	②スクーリングについて、登校型と宿泊型を実施（選択制）している。教科会にて、「授業」をテーマに取り上げ、授業内容の向上を目指している。	②登校型スクーリングについては、各学習センターにて通学生対象3回、ネット生対象6回実施。本校の宿泊型スクーリングは6回実施。	B	授業や活動において、充実した内容を行っている。第2回の宿泊型スクーリングにおいて、インフルエンザの集団罹患が発生したが、職員の柔軟な対応により、対応することができた。

3 ネット活用の充実	③「なりたい自分になる」ためのGrowth Programオンライン授業を実施。個別最適化につながる授業を展開している。 また、生徒・保護者とのコミュニケーションをとるためのオンラインツールを導入。	③令和七年度Growth Programの延べ参加人数は2,746名である。 ネットで生徒・保護者面談、ガイダンス、ホームルームも実施した。	B	Growth Programのカリキュラムも充実し、昨年度に比べ、大幅な受講者増につながっている。「なりたい自分が見つかる学校」としてより多くの生徒がオンラインでの授業を受けるよう体制を整える。
4 各種検定受験指導	④科目として漢字検定、英語検定、パソコン検定を教育課程に入れている。各種検定合格を目標設定し、受験を勧める。	④令和七年度の各種検定は受検者656名、合格者370名である。(前年度は受検者588名、合格者320名) 上位級の合格： 日本語ワープロ検定2級・1級、パソコンスピード検定2級・準1級・1級、 情報処理技能検定2級・1級、秘書検定2級、漢字検定2級・準1級、英語検定2級・準1級、日商簿記検定2級、数学検定2級	A	昨年度と比較し、検定の受検者・合格者ともに大幅に増加した。 さらに受検者増に向けての対策を練るとともに、合格者を増やすために各検定の対策講座を行うなど策を講じていく。
5 弁論大会	⑤平成二十九年度から他学習センターも参加し全国弁論大会として開催している。令和七年度は第13回弁論大会を開催した。	⑤熊本、福岡、千葉、宮崎、大分の5ヶ所をネット中継し、リアルタイムの弁論大会を実施した。本選は10人の弁士が発表した。246名の生徒が傍聴した。	A	文化祭の中で、「弁論大会」を実施。多くの生徒が傍聴した。弁士に限らず、傍聴した生徒にとっても成長の場となっている。

キャリア教育	<p>1 進路指導の充実</p> <p>① 進路指導部を中心に、学年に応じた進路ガイダンス等、継続的な進路指導を行う。また、「オンライン進学コース」や「ネット予備校」を導入し、個別カリキュラム制の受験対策を行っている。</p> <p>2 職業観の育成</p> <p>② キャリア教育としてオンライン講話を実施。多方面で活躍する方をお招きし、講話を実施。</p>	<p>① 令和七年度の進学希望者の決定率は87%、就職希望者の決定率は83%、進路決定率は85%である。</p> <p>② 講話については、9名の方をお招きした。生徒の職業観の育成に大きくつながっている。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>早期の基礎力強化とキャリア教育を徹底することで、進路決定へとつなげる。</p> <p>在籍中の活動をとおり、正しい職業観を持つ生徒を育てる。</p>
生徒指導	<p>1 いじめ防止</p> <p>①【いじめ対応に関する基本原則】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを絶対許さない学校 ・教職員はいじめを未然に防ぐ深い洞察力と継続した行動力を持つ ・生徒はいじめを見たら止める勇気を持つ <p>2 SNS 指導</p> <p>② ソーシャルメディアガイドラインに沿って、定期的に注意を呼びかける。業者と提携し、検索・監視を実施。</p>	<p>① いじめがあった場合、全教職員で情報を共有し、一丸となって継続した指導を行う。いじめの実態把握と防止のためにアンケートを実施。ネットいじめに注意していく。</p> <p>② 業者からの報告等で、不適切な書き込みが発覚した場合、削除及び今後への指導を行う。 「SNS を利用した犯罪等の現状」をテーマに 警察によるリテラシー講座を実施いただいた。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>いじめに対しては全教職員が毅然と対応し、いじめを許さない校風を構築する。情報共有システムの一層の充実を図る。</p> <p>不適切な書き込み等から生徒を守るために、次年度も業者と提携する。警察によるネットリテラシー講座を実施する。</p>

3 親孝行の奨励	③「親孝行する青少年たれ」を実践するため、平成二十六年度から「親孝行コンクール」を実施している。	③令和七年度は「第11回親孝行・絆作文コンクール」を実施し、1,874通の応募があった。(令和六年度応募数1,774通)	A	親孝行コンクール応募目標である1,880通以上の応募があった。 親孝行する生徒を育成する。
安全管理	学校危機管理マニュアル、防災計画書に則り、有事に備えた体制を整えている。	大きな事故等なく、運営することができている。 本校・各学習センターに防犯カメラを増やすなど、設備の充実を図った。	B	事故・災害・感染症等に対し、平常時よりリスク管理を徹底する。 第2回の宿泊型スクーリングにおいて、インフルエンザの集団罹患が発生したことを受け、令和8年度からは、スペシャルスクーリング参加資格として、事前の予防接種受診と予防接種済証の提出（ないし持参）を義務化とする。
情報提供	学校通信「ポプラ通信」を毎月発行。 また、学校評価をはじめ、スクールミッション・ポリシー、通信教育実施計画、教育活動等の状況に関する情報等、HPでも随時、情報提供を行っている。	内外に向けた情報提供ができている。学校、生徒、保護者間においてのコミュニケーションツール「Slack」「Gmail」「LINE」を利用することで円滑な情報共有につながっている。	A	次年度も引き続き各種情報提供をしていく。
地域との連携	「絆の日」では教職員・生徒と地域の皆様と共に清掃活動を行っている。 地域の各種行事へ参加している。	東日本大震災以降、毎月11日を中心に「絆の日」として清掃活動を行っている。既に162回の活動を終えた。	A	今まで以上に地域の皆様に対する感謝の念を忘れず、取り組んでいく。

<p>教職員研修</p>	<p>学内においては、校長による勉強会を毎月実施している。熊本にて研修旅行を実施した。</p> <p>【勇志国際高校の教職員の心得】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育者は、聖職者である。 2 教育者は、自らを鍛錬し、生徒に対しては長所を伸ばす指導法を基本とする。 3 教育者は、自己責任を行動原理とする。 4 教育者は、学校の健全な発展に努める。 5 教育者は、教育は国家百年の大計と心得る。 6 教育者は、生徒の教育を本位として行動する。 7 教育者は、教育を通して利他の精神に基づく文化を創造する。 8 教育者は、国を愛し、郷土を愛し、人を愛する。 9 教育者は、正しい歴史観と国家観が教育の基本と認識する。 10 教育者は、問題行動に対しては、毅然とした態度で適切な指導を行う。 	<p>教職員の意識が確実に向上している。勉強会はネット会議システムを利用している。</p> <p>全教職員が心得を正しく理解し、実践できている。</p> <p>外部実施の研修等にも積極的に参加している。</p>	<p>A</p>	<p>次年度も同様に勉強会を実施する。</p> <p>全教職員が使命と責任を果たせるように努力を続ける。</p>
--------------	---	---	----------	--